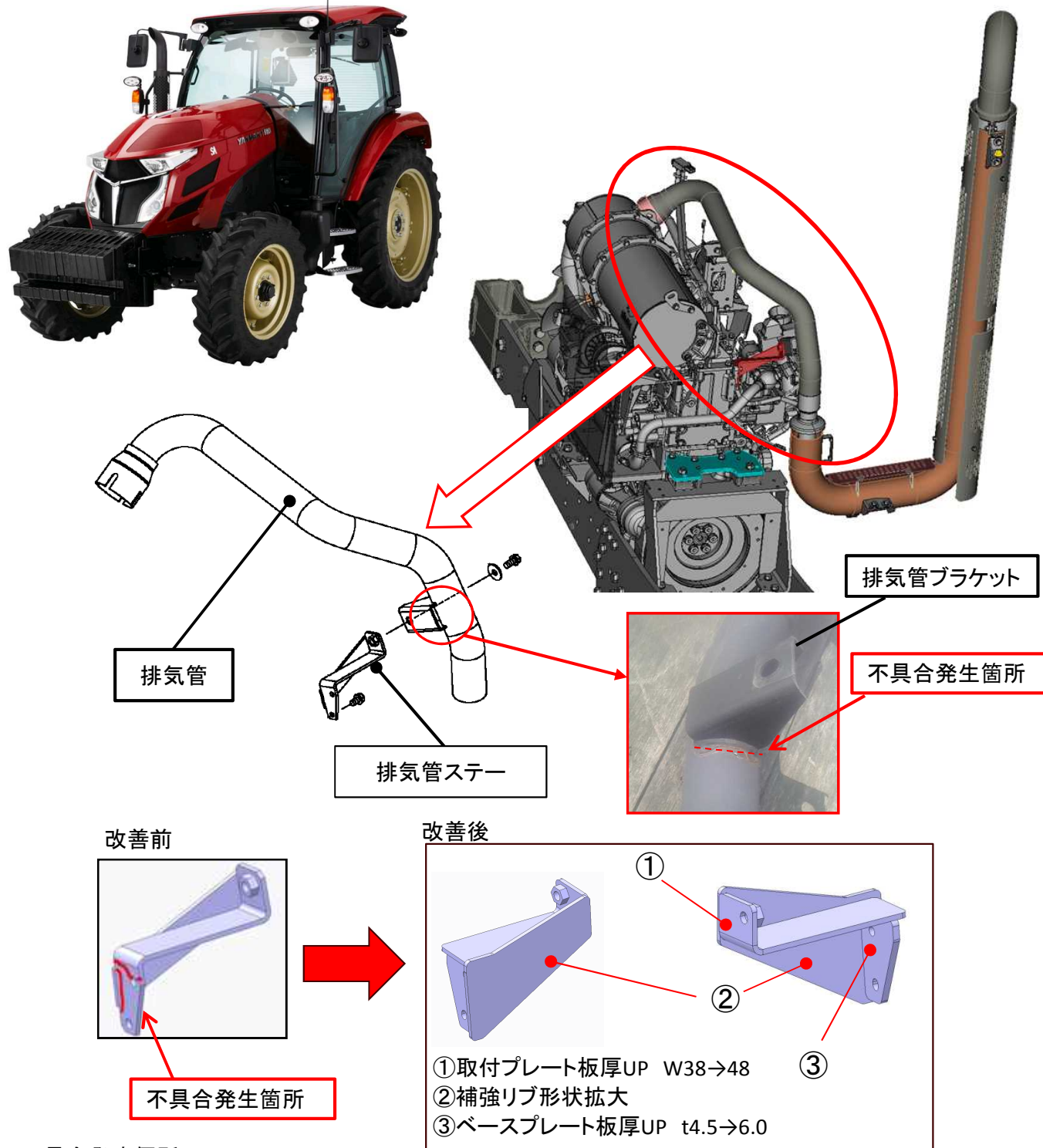


改善箇所説明図①

通称名 YT490、YT5101、YT5113



不具合発生箇所

排気管をエンジンに固定する排気管ステーの形状が不適切なため、エンジン高回転時に強度が不足していることがある。そのため、エンジンの振動で排気管が振れて、ステー取付部および、排気管ブラケット取付部が過大な応力を受けて損傷し、最悪の場合、排気管に亀裂が生じて排気ガスが漏れるおそれがある。

改善内容

全車両、排気管ステーを対策品に交換する。なお、排気管を確認し、損傷している場合は、良品に交換する。

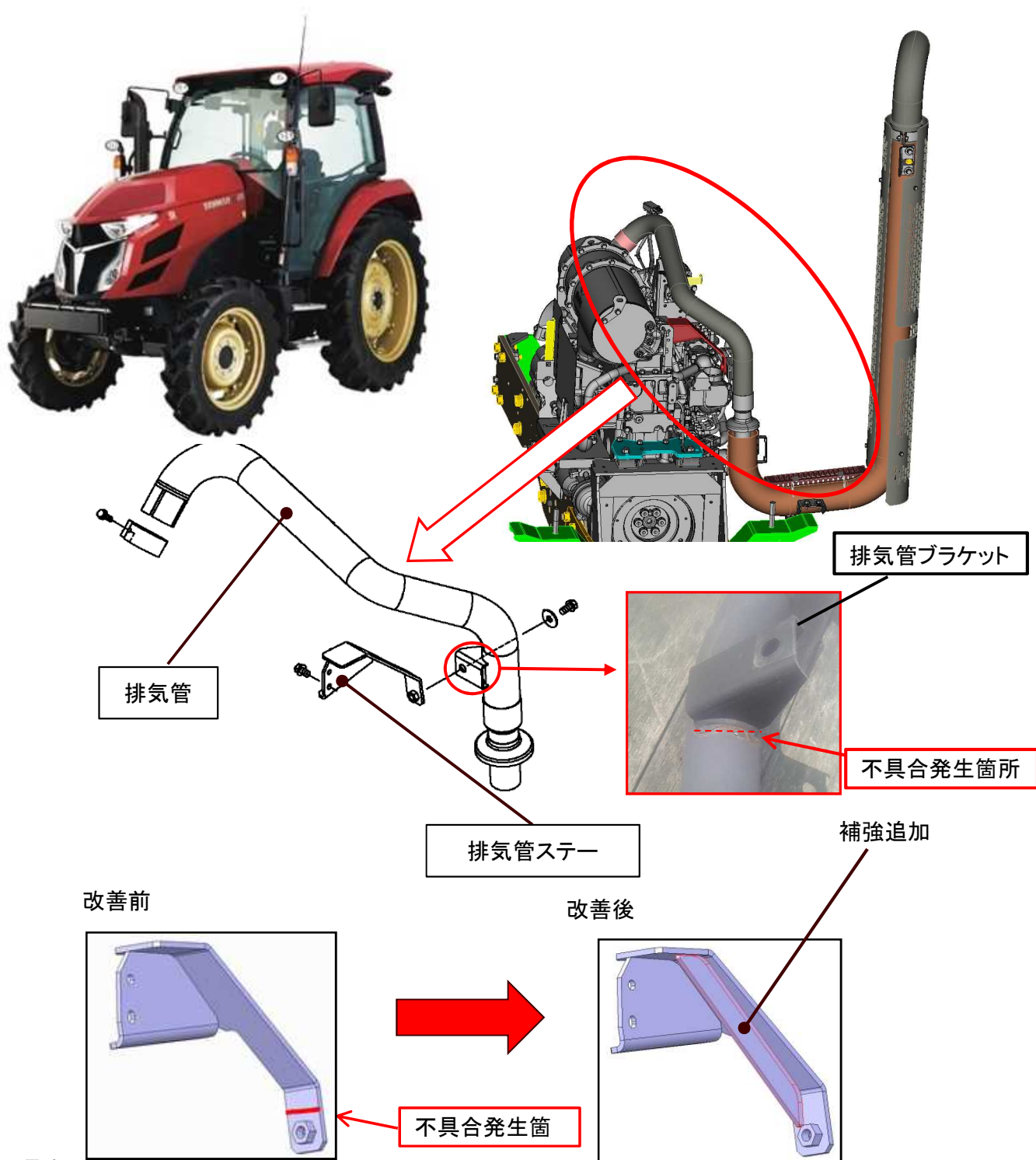
□ 交換部品を示す。

識別

排気管ステーの形状で識別

改善箇所説明図②

通称名 YT463、YT470



不具合発生箇所

排気管をエンジンに固定する排気管ステーの取付穴が排気管ブラケット取付穴と合わない状態で無理に組み付けたものがある。そのため、エンジンの振動で排気管が振れてステー取付部および、排気管ブラケット取付部が過大な応力を受けて損傷し、最悪の場合、排気管に亀裂が生じて排気ガスが漏れるおそれがある。

改善内容

全車両、排気管ステーを対策品に交換する。なお、排気管を確認し、損傷している場合は、良品に交換する。

交換部品を示す。

識別

排気管ステーの形状で識別